

# 未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町 ～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～

申請主体：愛南漁業協同組合、家串真珠母貝生産組合、国立大学法人愛媛大学、愛南町役場

## ◆プロジェクト概要

- ✓ 愛南町は日本一の真珠母貝（アコヤガイ）生産量を有していますが、ウイルスによる大量斃死や漁業者の高齢化、後継者不足などにより真珠産業の存続は危機的状況です。
- ✓ さらに、真珠母貝養殖に使用する筏（幹縄筏）には、アコヤガイの養殖に支障となる海藻マメタワラが毎年繁茂します。漁業者は、これを日常的に除去し、同海域の『藻捨て場』と呼ぶ区画に移しています。
- ✓ このような漁業者の日常的な管理が、実はCO<sub>2</sub>を効率的に海中へ移送するブルーカーボン創出源であると捉えたプロジェクトです。

## ◆プロジェクトの特徴・PRポイント

- ✓ 貝類養殖筏では**全国初、四国第一号**となるJブルークレジット認証
- ✓ **産業活動そのものが脱炭素社会に貢献**すると再評価した先進的取組
- ✓ 取得したクレジットは、**環境保全**や**真珠産業の保全・活性化**に活用します。加えて、持続的な水産業の確立や水産人材育成など、愛南町の**海業（うみぎょう）**の取組にも活用し、**町全体の活性化**を図ります。

